

3. 登山道管理水準の野営指定地、避難小屋への適用

《野営指定地、避難小屋への適用の考え方》

山岳地帯における野営指定地は、公園計画に基づく正式な野営場ではなく、登山による無秩序な野営が植生の破壊を引き起こしたり、ヒグマを誘引したりすることを防ぐため、環境省、林野庁、北海道（道有林を含む）及び市町の合意として設定しています。

野営指定地は、限定された範囲に対して高頻度の利用が断続的にあることから、利用圧を受けやすく、特にトイレのない野営指定地については排泄を行うための周辺植生への踏み込みによる裸地化等、影響が顕著に見られます。

野営指定地の配置や規模の変更・変更は、登山道利用に一定の影響を及ぼし、野営指定地周辺の植生に対しても大きな影響を及ぼすため、独自の保全対策ランクを設定することが必要です。また、周囲の大雪山グレードとの対応を踏まえ、保全管理を行うとともに、野営の現状、課題等を踏まえ配置や規模を変更する際には、周囲の大雪山グレード及び近接する野営指定地との配置の関係性を十分に考慮し検討する必要があります。

避難小屋施設は、荒天時の避難施設の役割を持つほか、黒岳石室、白雲岳避難小屋といった夏山シーズンに常駐管理人を配置した施設においては、隣接のトイレや野営指定地を含む施設管理や、登山者に対する登山マナーの啓発の機能を有しています。

宿泊可能な避難小屋はテントを持たずに山中泊の山行を可能とするため、その配置や規模、仕様の変更は、登山道利用に対して大きな影響を及ぼすため、周囲の大雪山グレードとの対応を踏まえた管理を行う必要があります。また、施設の現状、冬季遭難対策、防災対策等を踏まえての再整備、撤去、新規整備といった配置、規模、仕様の変更に際しては、周囲の登山道の大雪山グレード及び他の避難小屋施設との配置の関係性を十分に考慮し検討する必要があります。



白雲岳避難小屋・野営指定地



南沼野営指定地

《野営指定地の保全対策ランクの設定》

野営指定地の保全対策ランクは、登山道同様、自然条件と荒廃状況から設定します。

平成25年に実施した登山道の基礎調査をもとに、自然条件では、風衝草原、雪田草原、高層湿原、構造土等の周氷河地形が発達した自然裸地といった自然環境の脆弱性が高く、保全の必要性の高い自然植生や地形に該当する箇所に立地するか否かの評価を行い、荒廃状況は野営指定地の荒廃程度と、この10年間の荒廃の進行状況から3つの段階に評価し、下表の組み合わせで4つのランクに当てはめて定めます。各野営指定地のランク設定の詳細は『適用表』を参照して下さい。

野営指定地保全対策ランク（3段階）の設定：荒廃状況と自然条件の組み合わせ

荒廃状況 自然条件	1	2	3
1	A	B	C
2	A	C	D

要因1：自然条件（植生・地形）	
1	保全の必要性の高い植生（風衝地植物群落、雪田群落、高層湿原、高山荒原群落）や地形（構造土等の脆弱な周氷河地形）がある
2	保全の必要性の高い植生・地形に乏しい
要因2：荒廃状況（荒廃の程度、整備状況（トイレを含む）、進行状況：地質、傾斜、利用圧）	
1	既存の指定地の傾斜、起伏、侵食、ぬかるみ等荒廃が著しく、野営困難な箇所が生じている。または10年間で荒廃が急激に進行、あるいは、今後5～10年で著しい進行が予想される。
2	既存の指定地の傾斜、起伏、侵食、ぬかるみ等荒廃が見られ、野営困難な箇所が限定的に生じている。この10年の進行速度は遅く、今後5～10年での進行も遅いと予想される。
3	既存の指定地の傾斜、起伏、侵食、ぬかるみ等荒廃が見られない、又は荒廃は小規模であり、野営利用への影響がない。

野営指定地の保全対策ランク

A	保全上の課題が極めて大きい区間 野営地の荒廃が著しく、野営困難な箇所が生じている。 登山者の野営や周辺植生への影響が生じている、懸念される。
B	保全上の課題が大きい区間 野営地の荒廃が見られ、野営困難な箇所が限定的に生じている。 周辺に保全対象となる植生があるため、周辺の自然環境への影響が懸念される
C	保全上の課題が中程度の区間 野営地の荒廃は見られない又は荒廃は小規模であり、登山者の野営への影響はないが、周辺に保全対象となる植生がある。 野営地の荒廃が見られ、野営困難箇所が限定的に生じているが、周辺には保全対象となる植生は見られない。
D	保全上の課題が顕著ではない区間 野営地の荒廃は見られない又は荒廃は小規模であり、登山者の野営への影響はない。周辺には保全対象となる植生は見られない。

野営指定地への適用表

種別	名 称	大雪山グレード (利用体験ランク)	野営指定地の 保全対策ランク
野 営 指 定 地	裏旭野営指定地	グレード4	B
	黒岳石室野営指定地	グレード3	C
	白雲岳野営指定地	グレード4	グレード5
	忠別岳南野営指定地	グレード5	D
	ヒサゴ沼野営指定地	グレード5	B
	南沼野営指定地	グレード5	B
	双子池野営指定地	グレード5	A
	美瑛富士野営指定地	グレード3	グレード4
	上ホロカメットク野営指定地	グレード4	C
	沼ノ原大沼野営指定地	グレード4	D
	ブヨ沼野営指定地	グレード4	D
避 難 小 屋	天狗のコル野営指定地	グレード4	D
	姿見の池避難小屋	グレード1	グレード3
	黒岳石室	グレード3	—
	白雲岳避難小屋	グレード4	グレード5
	忠別岳南避難小屋	グレード5	—
	ヒサゴ沼避難小屋	グレード5	—
	美瑛富士避難小屋	グレード3	グレード4
	十勝岳避難小屋	グレード3	—
避 難 小 屋	上ホロカメットク避難小屋	グレード4	—

※大雪山グレード（利用体験ランク）は、近接する区間の大雪山グレード（利用体験ランク）を示しております。